

## 北朝鮮の核実験・ミサイル発射に抗議する

2017年9月6日  
核戦争に反対する医師の会

9月3日、北朝鮮は、朝鮮中央テレビにおいて「大陸間弾道ミサイル(ICBM)に搭載する水爆の実験に成功した」と発表し、6回目となる核実験を強行した。

北朝鮮による核実験は、核兵器禁止条約制定を求める国際世論を真っ向から否定するものである。さらに、いまなお原爆放射線による後障害に苦しみ、二度と核戦争による犠牲者を出さないことを願うヒバクシャの思いをも踏みにじるものである。核戦争に反対する医師の会として、満身の怒りを以て強く抗議する。

北朝鮮は、この間、核実験、ICBM発射等のミサイル開発を繰り返し、幾度ともなく国連決議に違反してきた。加盟国による厳しい経済制裁にもかかわらず軍事的挑発行為を停止せず、核実験を強行したことは、国際社会の平和と安全を根底から脅かす重大な挑戦であり、いかなる理由を以てしても是認することはできない。

米朝両国首脳は、相互に挑発と威嚇の繰り返すことで、軍事的衝突の現実の可能性を強めてきた。両首脳の主張がエスカレートし、「核使用」に言及するなど、核戦争も想起させる極めて危険な状況を作り出しており、核保有国や同盟国が言う「核抑止力」は幻想であり、挑発行為によって核戦争に発展する危険が高まっている。今日における核戦争は、その人道的結末が明らかにしているように、人類の生存をも脅かす事態となる。

私たちは関係国に対し、特に米朝首脳には、直接対話を通じて、北朝鮮の核・ミサイル開発問題を解決すること、日本政府には軍事的対応を回避すべく、米朝直接対話に向け外交的努力を尽くすことを求める。